

Diamond & Zebra サステナビリティプロジェクトレポート

1) 資金充当状況レポート (2022年3月末時点)

項目	金額 (百万円)
調達額	1,589.2
資金充当額	1,484.3
住宅向け次世代パワーコンディショナ及び蓄電システム 産業用パワーコンディショナ及び蓄電システム V2H(Vehicle to Home)システム	
うち、リファイナンス	0.0
未充当残高	104.9

今回のサステナビリティプロジェクトにおける、新株予約権及びバックアップローンによる資金調達額は約15億円です。このうち、今回の報告対象となる新株予約権の権利行使による調達額は約10億円、バックアップローンによる調達額は5億円です。

2022年3月現在、新株予約権の権利行使による調達資金約9億円が適格プロジェクトに充当され、残り1億円ほどが未充当となっております。

2) プロジェクトの進捗状況

- 住宅向け次世代パワーコンディショナ及び蓄電システム
概ね当初計画通り進捗しており、当期中に製品の生産開始が予定されております。
設備設置状況：2022年7月設置予定
稼働予定時期：2022年9月稼働予定
- 産業用パワーコンディショナ及び蓄電システム
概ね当初計画通り進捗しており、2024年度稼働に向け開発を進めております。
- V2H(Vehicle to Home)システム
概ね当初計画通り進捗しており、当期中に製品の生産開始が予定されております。
設備設置状況：2022年10月設置予定
稼働予定時期：2022年12月稼働予定

3) 環境改善効果

- 住宅向け次世代パワーコンディショナ及び蓄電システム
対象生産設備の生産能力に基づくCO2削減効果：179,922t-CO2/年
蓄電容量：350MWh ※環境改善効果は生産開始時の想定設備能力を基に試算した推計値です。
- 産業用パワーコンディショナ及び蓄電システム
対象生産設備の設備能力に基づくCO2削減効果：92,444t-CO2/年
蓄電容量：365MWh ※環境改善効果は生産開始時の想定設備能力を基に試算した推計値です。
- V2H(Vehicle to Home)システム
対象生産設備の設備能力に基づくCO2削減効果：5,400t-CO2/年
蓄電容量：15MWh ※環境改善効果は生産開始時の想定設備能力を基に試算した推計値です。